



国際熱帯木材機関

わずか三日間で 横浜市ひとつ分

世界中で多くの熱帯林が失われています
私たちと森の未来のことを考えてみませんか



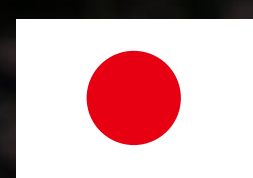
ITTO 国際熱帯木材機関 (International Tropical Timber Organization)

横浜市に世界本部を置く、熱帯林と人間社会との持続可能な関係構築を目的として1986年に設立された国際連合条約機関です。熱帯林で営まれる林業の適正化、持続可能な木材生産と利用の推進をミッションの基軸に、地球温暖化対策、また生物多様性保全の分野へもミッションの幅を広げ、日本政府と横浜市、加盟各国政府や民間企業の協力のもと、さまざまな分野の人たちと手を携え、世界に向けたメッセージの発信、熱帯林を取り巻くさまざまな問題の解決に取り組んでいます。そして、持続可能な開発目標SDGsの達成にも貢献しています。



www.itto.int/japan

写真は、【インドネシア、スマトラ島北部 北スマトラ州のつる植物で休むスマトラオランウータン(ポンゴ・アベリ)の母親と2歳半の赤ちゃん】



JAPAN GOV
THE GOVERNMENT OF JAPAN



外務省
Ministry of Foreign Affairs of Japan

林野庁
Forestry Agency of Japan

Photo : Minden Pictures / アフロ

協力：横浜市